

新着図書案内

一般書

タイトル	著者名	本の内容
人面瘡探偵	中山 七里	人面瘡ジンの指示で事件を追う六兵が辿り着いたのは…
約束された移動	小川 洋子	俳優Bの泊まった部屋からは決まって本が抜き取られていた。
グッドバイ Goodby	朝井 まかて	長崎の油商の女主お希以は、異国との茶葉交易に乗り出した
レームダックの村	神林 長平	階級制が顕在化した近未来日本。人類社会はゆっくり死に始め…
タスキメシー箱根一	額賀 滯	弱小駅伝部アシスタントコーチ早馬。箱根駅伝出場を目指す
にっぽん建築散歩	小林 泰彦	日本全国30エリアの歴史的建物をイラストと地図で紹介
司法通訳人という仕事 知られざる現場	小林 裕子	司法通訳とは…プロフェッショナルリズムに満ちたメッセージ
認知症の親へのイラッとす 気持ちのスーッと消える本	榎本 睦郎	認知症の問題行動の中から、その理由と接し方のコツを紹介
皮膚科専門医が見た！ さんねんなスキンケア47	安部 正敏	診察室で遭遇した「残念」を取り上げ、正しい肌ケア法を紹介
アンチ整理術 Anti-Organizing Life	森 博嗣	自由に楽しんで生きるために大切な思考・価値観を伝える。

絵本・児童書

タイトル	著者名	本の内容
わたしのわごむはわたさない	ヨシタケシンスケ	このわごむ、わたしのもの。好きにしているのよ？すくない？
ノラネコぐんだんカレーライス	工藤 ノリコ	夜、ノラネコぐんだんはお店に忍び込んでカレーを作り…
おなべさんとおたまちゃん	絵 国松工リカ/ 作 宮本えつよし	ふらふらしたおすもうさんを助けた、おなべさんとおたまちゃん
さいたさいたゆきのはな	鈴木 真実	初めて雪をみた妹りす。雪の結晶の美しさを楽しく伝える絵本
まちがいまちにようこそ	絵 及川 賢治/ 作 齊藤 倫	あなばたけ？へんたいでんわ？あたらしい、ことばあそび絵本
夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの	作 濱野 京子/ 文 森川 泉	達輝は図書館でサッカー好きの令央を見かけ…本がつなく友情物語
故郷の味は海をこえて 「難民」として日本に生きる	安田 菜津紀	日本に暮らす難民が故郷の料理をふるまいながら語ってくれたこと
ながーい5ふん みじかい5ふん	絵 オガヒイ・クルック/文 リス・ガートン・スキャロウ	順番待ちの5分は長いけど絶叫マシンの5分は一瞬。時間は面白い
ふゆとみずのまほう こおり	片平 孝	冬の寒さが水に魔法をかけた！氷の性質を美しい写真とともに紹介

司書のおすすめ！今月のテーマは…「心があたたかくなる本」

ぬるい生活

群 ようこ



東京バンドワゴン
オール・ユー・ニード・イズ・ラブ
小路 幸也

ぎゅっ
ジェズ オールバラ



てぶくろ
いもと ようこ

14ひきのあさごはん
いわむら かずお



寒い冬、忙しい毎日、ほっとしてみませんか？
図書館司書 山田

※ここで紹介している本は
展示①のコーナー
(カウンター前の丸テーブル)にあります！

令和元年 令和2年
12月 & 1月
合併号

みなさんの ？ が集う 広場のような図書館をめざして
はてな 発見 ハッピー

とうごう図書館だより

通号69号

令和元年12月1日発行

発行・編集 東郷町立図書館
指定管理者
東郷町施設サービス株式会社

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 休館日
- おはなし会
- 冬のお楽しみ会
- お楽しみ会

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

★年末年始休館と特別貸出期間のお知らせ★

年末年始の休館日 令和元年12月28日(土)～令和2年1月4日(土)

特別貸出期間について 令和元年12月14日(土)～令和元年12月27日(金)
期間中は、おひとり12冊まで 4週間の貸出ができます。

★おはなし会★

図書館内おはなしコーナー

絵本などの読み聞かせ

★お楽しみ会★

町民会館3階 視聴覚室

絵本の読み聞かせ、工作、映写会など

冬のお楽しみ会 2019年12月7日(土) 13:30～15:00 東郷町民会館 2階 大会議室 協力：読み聞かせボランティア「まつぼっくり」さん

うんどう
遊び

くるくる
おもちゃ絵本
「なにかな？
なにかな？」

かげ絵
「北風と太陽」

読み聞かせ
&
パネルシアター

みんなで
はらぺこあおむし！
みんなで
大きなはらぺこあおむしに
絵を描こう！

みんなで
はらぺこあおむしに
参加すると
もらえるよ！

2020年1月5日(日) 限定開催！

新春★ お楽しみくじ

年始の運だめし!?
当日、本を1冊以上借りていただいた方は、
ささやかな景品がもらえるくじがひけます♪
おひとり1回限り。
くじがなくなり次第終了となります。

初読み★本の福袋

2020年1月5日(日)～
1月13日(月祝) 無くなり次第終了!

絵本セット×10、児童書(読み物)セット×5
一般書(大人向け)セット×5
合計20セット限り

司書がセレクトした本を福袋にして貸出!
どんな本が入っているかは、
借りてみてのお楽しみ♪
普段、選ばない本に出会うチャンスです。

図書館のQRコードです。ご利用ください。

東郷町立図書館 愛知郡東郷町春木北反田14番地
東郷町民会館3階 Tel.0561-38-2900

『賢者のおくりもの』



クリスマスのプレゼントを買うために、大切な宝物を手放してしまう夫婦の愛の物語。短編の名手 オー・ヘンリーの名作。

文:オー ヘンリー
絵:リズベート ツヴェルガー
出版社:富山房

『急行「北極号」』

サンタを待つ少年のもとに現れたのは、白い蒸気に包まれた謎めいた汽車「北極号」
幻想的で美しい絵と村上春樹の訳が心にしみる作品



絵・文:C.V.オールズバーク
訳:村上 春樹
出版社:あすなろ書房

『だれも知らないサンタの秘密』



サンタさんって謎だらけ。どうしてみんなの欲しいものを知っているんだろう?たくさんのプレゼントをどうやって用意してるの?サンタの秘密を次々と紹介。

作:アラン スノウ
訳:三辺 律子
出版社:あすなろ書房

『飛ぶ教室』

ドイツの寄宿学校を舞台にしたクリスマスのお話。クリスマス劇「飛ぶ教室」の稽古にはげむ少年たち。笑いあり涙ありの成長物語。



著:エーリヒ ケストナー
訳:池内 紀
出版社:新潮社

『子うさぎましろのお話』



サンタクロースからもらったお菓子を食べてしまった子うさぎのましろ。もっと何か欲しくなったましろは、黒うさぎになりすまして、もう一度会いに…

文:ささき たづ
絵:みよし せきや
出版社:ポプラ社

『ムーミン谷のクリスマス』

冬眠していたムーミン一家。ところがいきなりヘルムに「クリスマスがやってくるよ!」と起こされます。あの短編「もみの木」が美しい絵本に。



原作:トーベ・ヤンソン
絵:フィリップ・ヴィーデルンド
出版社:徳間書店

『あのね、サンタの国ではね…』

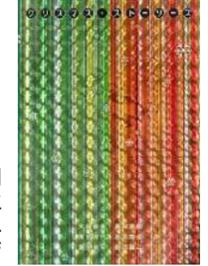


サンタクロースは、クリスマス以外は何をしている?5月は体力測定。9月からクリスマスの準備。そしていよいよ12月…サンタの国の1年間を楽しく描いた絵本。

作:嘉納 純子
絵:黒井 健
出版社:偕成社

『クリスマス・ストーリーズ』

人気作家がクリスマスをテーマに綴るアンソロジー。クリスマスの過ごし方は人それぞれ。心に安らぎをお届けする、そんな6つのストーリー。



著:大崎 善生、奥田 英朗
角田 光代、島本 理生
蓮見 圭一、盛田 隆二
出版社:角川書店

『大統領のクリスマスツリー』



これがね、大統領のクリスマス・ツリー。治貴の言葉は香子の耳の奥に今でも残っている。ワシントンで出会い、そこで一緒に暮らし始めた2人。2人の夢は次々と現実になっていくが…

著:鷺沢 萌
出版社:講談社

『12月25日の怪物』 謎に満ちた「サンタクロース」の実像を追いかけて

サンタクロースのルーツを探し、現在のサンタクロース像ができるまでの過程を、世界中を訪ねまわり追ったノンフィクション。サンタの知られざる素顔と、日本人にとってのサンタの意味を解き明かす。



著:高橋 大輔
出版社:草思社

『お正月』



今日は元旦。一年の幸せを願って縁起をかつぎたいだんなさんですが、でっちのさだきちはへまばかり…お正月にまつわる楽しい落語絵本

文:桂 文我
絵:国松 エリカ
出版社:BL出版

『十二支のどうぶつ小断』

鍋をかぶせてねずみをつかまえた若い2人の男。つかまえたねずみの大きさを「大きい」「小さい」と言い合っているところ、ねずみが出した答えとは…十二支の動物をネタにした楽しい小断絵本



作:川端 誠
出版社:BL出版

『江戸の十二支+α どうぶつえん』



江戸の絵師たちが腕をふるった動物画の中から、十二支をとりあげた“誌上どうぶつえん”十二支のライバルや物語ゆかりの生き物なども合わせて紹介

著:安村 敏信
出版社:東京美術

『しめ飾り造形とその技法』

日本の稲作文化と深く結びついた「春を迎えるかたち」である「しめ飾り」しめ飾りの歴史やその製作技法などを紹介



著:鈴木 安一郎
安藤 健浩
出版社:誠文堂新光社

『おりがみで十二支を折ろう』



十二支の動物の折り方を、ワイドな折り図で楽しく解説。平面的紙から立体を作り出す芸術「折り紙」年末年始のお休みに、チャレンジしてみたい一冊

著:富田 桂子
出版社:いしずえ

『明治・大正の広告メディア』 〈正月用引札〉が語るもの

明治から大正にかけて、年末年始に商店主が配った極彩色の印刷物“正月用引札”。その広告・情報伝達・祝賀という3つの機能を持つ引札の変遷や歴史的な意味を考察



著:熊倉 一紗
出版社:吉川弘文館

『おしょうがつこびとのおはなし』



おしょうがつこびとは川の向こうの家に急いでいきましたが、橋が壊れていけません。凧を作ってあげてもらおうことに…良い年になりますようにという願いがこめられたかわいい絵本

作:まつい のりこ
出版社:童心社

『はつてんじん』



お父さんは金坊を連れて、初天神へ。途中の屋台で綿菓子やたこ焼きをねだられても「あれは毒だ」とごまかしていたお父さん。とうとう根負けして凧を買いましたが…くすと笑える落語絵本

作:川端 誠
出版社:クレヨンハウス

『十二支のはじまり』



お正月に誰か遊びに来ないかなと考えていた神様はいいことを思いつきました。十二支に出てくる動物の種類と順番を楽しい物語とゆかいな絵で描いた本

絵:荒井 良二
文:やまぢ かずひろ
出版社:小学館

『娘に伝えたいおせち料理と季節のごちそう』

5品で完成の2人分のおせちから、三段重25品のおせちまで、初めてでも基本からやさしく作れるよう解説。お雑煮やお餅のバリエーションなども紹介



著:本田 明子
出版社:講談社



お正月に関する本も色々あります。十二支やしめ飾りの由来や意味などを、改めて調べてみるのもいいですね。おせち料理も一品一品に意味があります。そのこめられた願いを思いながら食べると、よりいっそう美味しくなるかもしれませんね。でも、皆さん食べすぎには注意ですよ!



かんちょう

クリスマスに読みたい、おススメの本を集めてみました。定番の物語からサンタを追ったノンフィクションまで、図書館にはたくさんの『クリスマス』があります。特におススメは絵本。絵本は小さなお友だちの読み物と思っていませんか?美しい絵、ワクワクやドキドキ、絵本には魅力がいっぱい!この機会にぜひ手にとってみてください。



かんちょう

